

京都府農林水産業人材確保育成戦略実現のための支援について

【担当省庁】農林水産省

幅広い産業や世代からの農林水産業への誘導や、異業種と連携した成長産業化を担う人材の育成などを柱として、令和7年3月に策定した「京都府農林水産業人材確保育成戦略」の実現に向け、以下の措置を講じていただきたい。

- 農林水産業が職業として選択されるよう、義務教育期間における体験学習など、幅広い人材の層を対象に、食と生産の関係性をはじめ多面的な魅力の理解醸成を図り、人材確保の間口を広げる取組を国が先頭に立って推進
- 農林水産業の各分野に共通する最先端技術の活用や企業的経営マインドの修得など、産学公民の多様な主体と連携した高度な専門人材の育成研修に対する支援制度の創設
- 農林水産業の研修教育機関の核となる都道府県設置の農業大学校、林業大学校等の機能強化に必要な施設、設備、機械等の整備に係る予算の確保

【現状・課題等】

■幅広い人材の層へのアプローチによる農林水産業への誘導

- ▶ 幼少期から農林水産業への親しみを持つとともに、将来進むべき職業分野が定まっていない高校生や大学生も含め、農林水産業が将来の職業選択肢の一つとなるよう、その魅力を強くアピールすることが重要。
- ▶ 農林水産業へ人材を効果的・効率的に誘導するには、農業、林業、水産業の分野ごとの施策に加えて、国による一次産業の分野横断的な情報発信など、施策の強力な推進が必要。

■多様な主体との連携や教育研修施設の機能強化による高度専門人材の育成

- ▶ 農林水産業や農山漁村の維持・発展には、マーケティングや財務などの企業的な経営スキルやAI、IoTなどの最先端技術を積極的に取り入れ、儲かる農林水産業を実践する専門性の高い人材の育成が重要。
- ▶ 全国でも例のない農林水産業分野横断での研修や、産学公民と連携した企業経営や情報技術などの幅広いカリキュラムなど、高度専門人材育成の取組を対象とする支援の強化が必要。
- ▶ 都道府県教育機関（農業大学校、林業大学校等）におけるカリキュラムの高度化や施設・機械整備等の機能強化のため、研修環境整備に向けた支援の強化が必要。

京 都 府 の担当課	農林水産部 経営支援・担い手育成課(075-414-5041)
---------------	---------------------------------

【国の事業等】〔農林水産省〕

- 新規就農者育成総合対策 107 億円
- 農業経営・就農支援体制整備推進事業 6 億円
- 雇用就農の総合的な推進 30 億円
- 森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策 144 億円 うち森林・林業担い手育成総合対策 47 億円
- 経営体育成総合支援事業 4 億円
- 新規就農者確保緊急円滑化対策のうち農業教育環境整備事業 5 億円の内数
(令和6年度補正予算)

【京都府の取組】

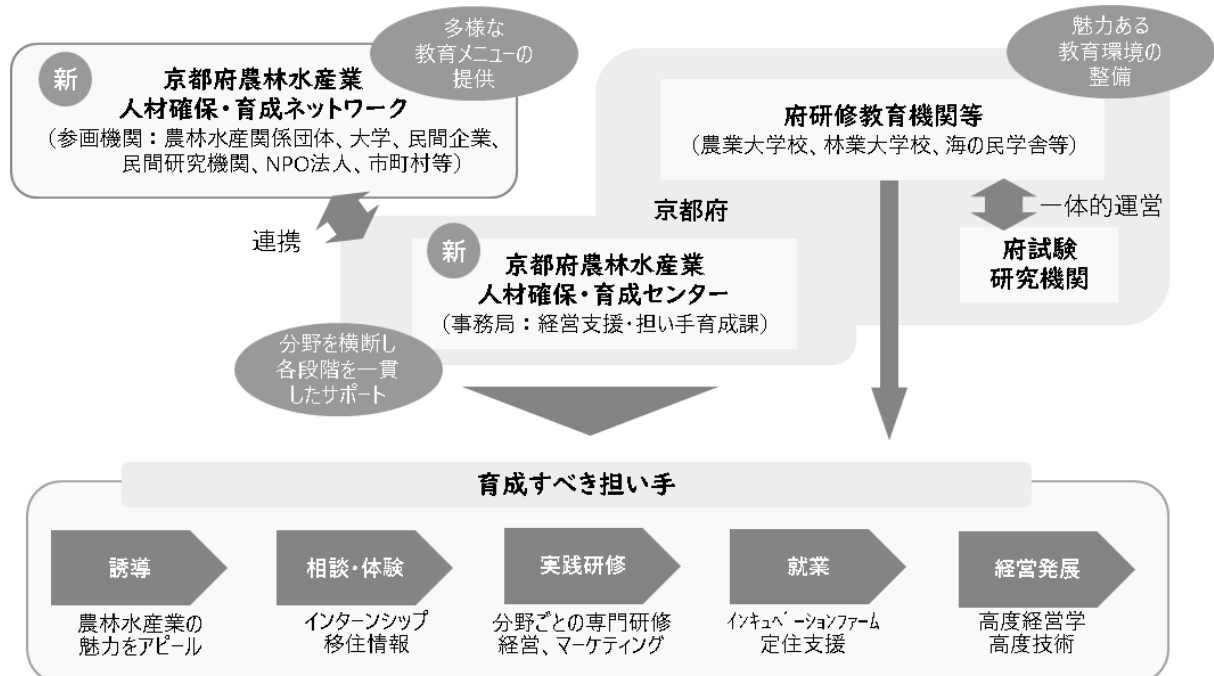
■京都府農林水産業人材確保育成戦略（令和7年3月策定）

▶ 今後育成すべき担い手像

- 農林水産業の成長産業化を牽引する専門人材
- 様々な形で農林水産業へ関わり、農山漁村を支える多様な人材
- 自らの特性を活かし、共に活躍する共生社会を実現する人材

▶ 施策の基本的な方向性

- 施策の司令塔として、京都府農林水産業人材確保・育成センターの設置
- 多様な教育メニュー提供のため、京都府農林水産業人材確保・育成ネットワークの設立
- 府研修教育機関における、魅力ある教育環境の整備



■京都府内の農林水産業及び農山漁村の担い手の減少

- ▶ 基幹的農業従事者数 (R2) 15,130人 (R2/H2 : ▲43.7%)
- ▶ 林業労働者数 (R5) 463人 (R5/H3 : ▲72.3%)
- ▶ 漁業就業者数 (R5) 773人 (R5/H5 : ▲60.8%)
- ▶ 農家戸数10戸未満の集落数 (R2) 736集落 (R2/H2 : 387%)